

令和7年度山形県いじめ問題対策連絡協議会

日 時 令和7年6月2日（月）

13:30～14:30

場 所 県庁講堂（オンライン併用）

次 第

1 開 会

2 知事あいさつ

3 協 議

（1）令和6年度におけるいじめに関する調査結果報告等について

（2）いじめ問題等への対応及びいじめの防止等に向けた取組について

（3）関係機関及び団体の令和6年度いじめの防止等に係る取組の報告
及び令和7年度いじめの防止等に係る事業計画等について

4 そ の 他

5 閉 会

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍する等、当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。（「いじめ防止対策推進法」）

令和7年度山形県いじめ問題対策連絡協議会委員名簿

敬称略

番号	機関	役職名	氏 名
1	山形県知事		吉村 美栄子
2	山形県いじめ問題審議会	山形県いじめ問題審議会長 (県立米沢栄養大学教授)	花屋 道子
3	山形県青少年育成県民会議	山形県青少年育成県民会議会長	柿崎 則夫
4	山形県医師会	県立こころの医療センター院長	神田 秀人
5	山形県弁護士会	弁護士	青柳 紀子
6	山形県公認心理師・臨床心理士協会	山形県公認心理師・臨床心理士協会長	伊藤 洋子
7	山形地方法務局	山形地方法務局人権擁護課長	井上 一朗
8	山形県PTA連合会	山形県PTA連合会長	武田 靖裕
9	山形県PTA連合会母親委員会	山形県PTA連合会母親委員長	高橋 あゆみ
10	山形県高等学校PTA連合会	山形県高等学校PTA連合会長(山形中央PTA)	工藤 健一
11	山形県特別支援学校PTA連合会	山形県特別支援学校PTA連合会長	兼子 佳子
12	山形県私立中学高等学校PTA連合会	山形県私立中学高等学校PTA連合会長	飯田 泰英
13	山形県私立幼稚園・認定こども園協会	山形県私立幼稚園・認定こども園協会会長	千葉 亮子
14	山形県私立中学高等学校協会	山形県私立中学高等学校協会理事	石原 和実
15	山形県市町村教育委員会協議会	大江町教育委員会教育長職務代理者	山家 貴代
16	山形県市町村教育委員会協議会教育長会	山形県市町村教育委員会協議会教育長会長	金沢 智也
17	山形大学附属学校運営部	山形大学附属学校運営部副部長	澁江 学美
18	山形県連合小学校長会	天童市立長岡小学校長	佐藤 美和子
19	山形県中学校長会	山形市立山寺中学校長	武田 裕子
20	山形県高等学校長会	山形県立山辺高等学校長	高橋 久美子
21	山形県特別支援学校長会	山形県立ゆきわり養護学校長	村上 未紀
22	県教育委員会	山形県教育委員会教育長	須貝 英彦
23	県警察本部	山形県警察本部長	水庭 誠一郎
24	県総務部	山形県総務部長	小中 章雄
25	県しあわせ子育て応援部	山形県しあわせ子育て応援部長	齋藤 恵美子
26	山形県福祉相談センター	山形県福祉相談センター所長	佐藤 慎治

令和6年度本県のいじめに関する定期調査の結果について

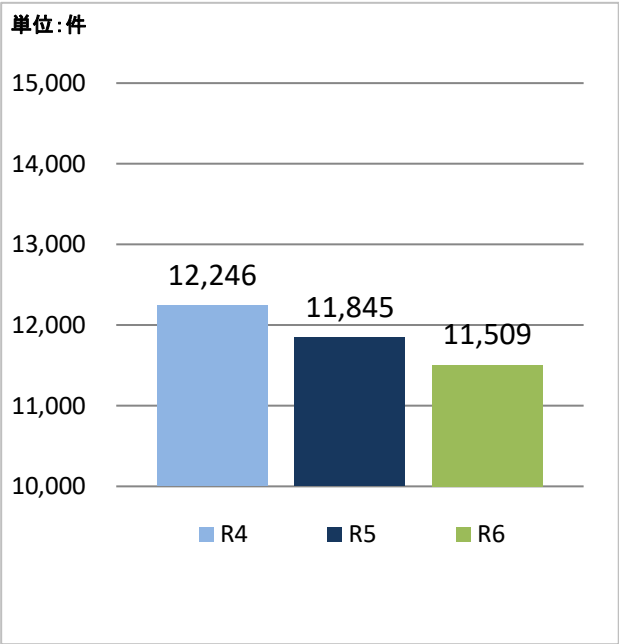
1 調査期間

R 6 年度：令和 6 年4月1日～令和 7 年3月31日
R 5 年度：令和 5 年4月1日～令和 6 年3月31日
R 4 年度：令和 4 年4月1日～令和 5 年3月31日

2 いじめの状況

(1)ー1 学校種別いじめの認知件数

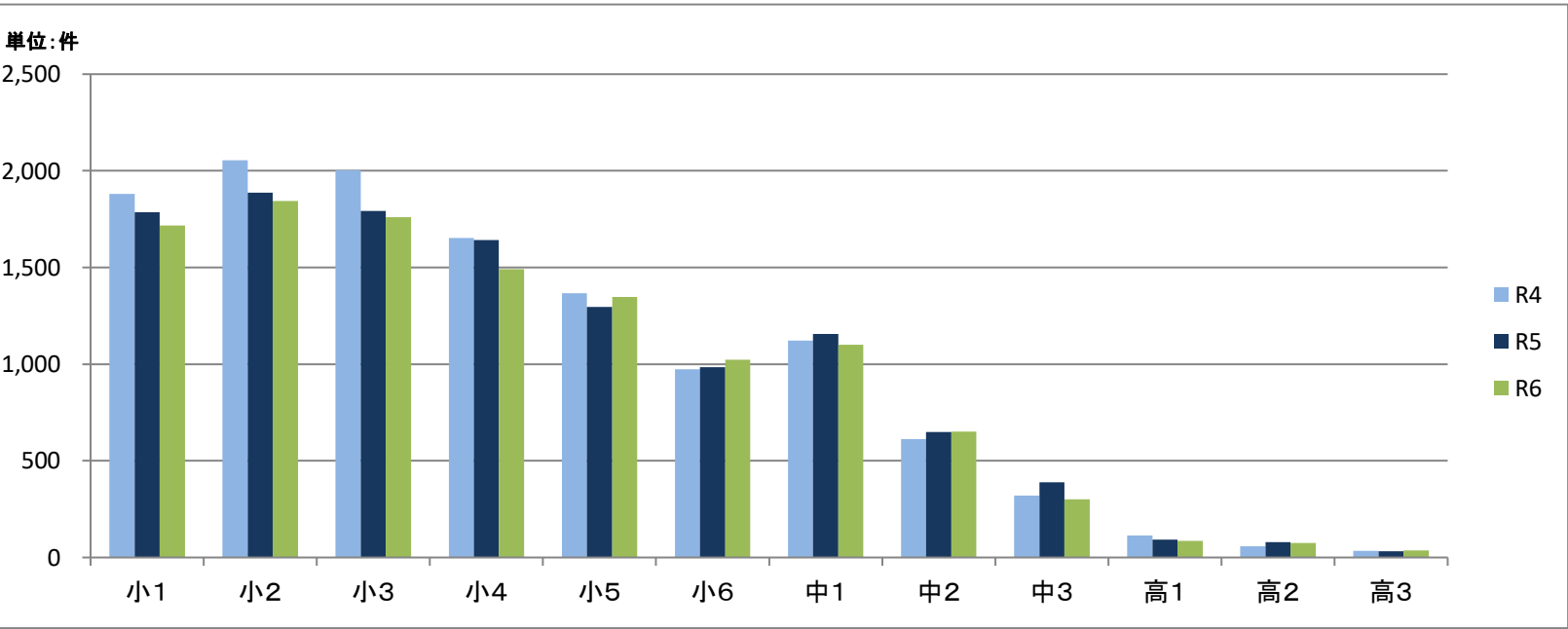
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
R4	9,929 件	2,054 件	207 件	56 件	12,246 件
R5	9,388 件	2,196 件	205 件	56 件	11,845 件
R6	9,186 件	2,053 件	198 件	72 件	11,509 件
前年増減	-202 件	-143 件	-7 件	16 件	-336 件
前年比	97.8%	93.5%	96.6%	128.6%	97.2%



(1)ー2 過去3年間の学年別認知件数(小中高)

単位：件

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
R4	1,880	2,055	2,003	1,652	1,366	973	1,121	613	320	114	58	35
R5	1,785	1,887	1,792	1,643	1,296	985	1,157	650	389	93	79	33
R6	1,717	1,844	1,761	1,492	1,348	1,024	1,100	652	301	86	75	37



(2)いじめの発見のきっかけ(全校種合計)

	R4		R5		R6	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	400 件	3.3 %	330 件	2.8 %	300 件	2.6 %
アンケート調査等学校の取組により発見	9,460 件	77.2 %	9,321 件	78.7 %	9,060 件	78.7 %
本人からの訴え	1,157 件	9.4 %	1,102 件	9.3 %	1,125 件	9.8 %
本人の保護者からの訴え	997 件	8.1 %	913 件	7.7 %	806 件	7.0 %
その他	232 件	1.9 %	179 件	1.5 %	218 件	1.9 %

(3)期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	R4	R5	R6	前年増減	前年比
① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	7,620 件	7,704 件	7,589 件	-115 件	98.5%
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	2,034 件	1,930 件	1,811 件	-119 件	93.8%
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	3,511 件	3,013 件	2,922 件	-91 件	97.0%
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	1,392 件	1,294 件	1,282 件	-12 件	99.1%
⑤ 金品をたかられる。	218 件	253 件	280 件	27 件	110.7%
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	1,016 件	966 件	852 件	-114 件	88.2%
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	1,158 件	1,147 件	1,188 件	41 件	103.6%
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	313 件	305 件	344 件	39 件	112.8%
⑨ その他	374 件	391 件	273 件	-118 件	69.8%

3 いじめの解消状況

(1) 各年度調査時の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	10,557 件	86.2 %	1,688 件	13.8 %	1 件	0.0 %	12,246 件
R5	10,395 件	87.8 %	1,442 件	12.2 %	8 件	0.1 %	11,845 件
R6	9,931 件	86.3 %	1,573 件	13.7 %	5 件	0.0 %	11,509 件

※「いじめの解消」の定義

「いじめに係る行為が3か月止んでいること」
「被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと」という2つの要件を満たすこと
「いじめの防止等のための基本的な方針」（文部科学大臣決定 平成25年10月）

(2) 令和5年度認知分の令和6年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R5	11,764 件	99.3 %	78 件	0.7 %	3 件	0.0 %	11,845 件

(3) 令和4年度認知分の令和6年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	12,228 件	99.9 %	14 件	0.1 %	4 件	0.0 %	12,246 件

<分析等>

- 令和6年度の県全体のいじめの校種別の認知件数では、小学校で202件減少、中学校で143件減少、高等学校で7件減少、特別支援学校では16件増加となった。全校種を合計した総認知件数は336件減少し、前年度比で97.2%となった。同一学年を経年で見した場合、小学2年生でいじめ認知数が一旦増加した後は、心身の成長とともに減少していくが、中学1年生では、進学による環境の変化と人間関係の多様化・複雑化等によって生徒同士のトラブルが増え、いじめ認知件数も上昇する傾向がある。
- 「いじめ発見のきっかけ」としては、「アンケート調査等学校の実施により発見」が78.7%と最も高い。児童生徒だけでなく保護者も対象にアンケートを行っているのは全国でも山形県だけの取組であり、アンケート後の面談を合わせて実施していることで、相談しやすい環境が整えられていることが、認知件数の高さに繋がっている。
- 「いじめの態様」については、「冷やかしやからかい、嫌なことを言われる」が最も多かった。「仲間はずれ、無視される」「ぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする」「金品を隠されたりする」等は前年に比べて減少している。しかし、インターネットを介して「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる」いじめの認知は増加が見られ、校種別で見ると主に小中学校で増加している。ICT機器の普及に伴い、インターネット上でのコミュニケーションの割合が増えてきていることが要因の一つと考えられる。今後も、特別の教科 道徳や特別活動において情報モラル教育やSNS等を利用する際の他者とのかかわり方について、小学校低学年から継続して取り組んでいく必要がある。

小学校調査結果

1 学校数

R 6 年度：（ 221 ）

2 いじめの状況

(1)いじめの認知件数及び学年別内訳

	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	合 計
R4	1,880 件	2,055 件	2,003 件	1,652 件	1,366 件	973 件	9,929 件
R5	1,785 件	1,887 件	1,792 件	1,643 件	1,296 件	985 件	9,388 件
R6	1,717 件	1,844 件	1,761 件	1,492 件	1,348 件	1,024 件	9,186 件
前年 増減	-68 件	-43 件	-31 件	-151 件	52 件	39 件	-202 件
前年 比	96.2%	97.7%	98.3%	90.8%	104.0%	104.0%	97.8%

(2)いじめの発見のきっかけ

	R4		R5		R6	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	265 件	2.7 %	197 件	2.1 %	173 件	1.9 %
アンケート調査等学校の取組により発見	7,859 件	79.2 %	7,681 件	81.8 %	7,559 件	82.3 %
本人からの訴え	811 件	8.2 %	718 件	7.6 %	737 件	8.0 %
本人の保護者からの訴え	846 件	8.5 %	687 件	7.3 %	581 件	6.3 %
その他	148 件	1.5 %	105 件	1.1 %	136 件	1.5 %

(3)期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	R4	R5	R6	前年増減	前年比
① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	6,205 件	6,160 件	6,115 件	-45 件	99.3%
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	1,716 件	1,602 件	1,495 件	-107 件	93.3%
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	3,080 件	2,661 件	2,579 件	-82 件	96.9%
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	1,236 件	1,171 件	1,142 件	-29 件	97.5%
⑤ 金品をたかられる。	176 件	208 件	235 件	27 件	113.0%
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	832 件	749 件	676 件	-73 件	90.3%
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	1,007 件	999 件	1,022 件	23 件	102.3%
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	126 件	115 件	130 件	15 件	113.0%
⑨ その他	320 件	326 件	215 件	-111 件	66.0%

3 いじめの解消状況

(1)各年度調査時の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合 計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R5	8,294 件	88.3 %	1,090 件	11.6 %	4 件	0.0 %	9,388 件
R6	8,010 件	87.2 %	1,173 件	12.8 %	3 件	0.0 %	9,186 件

(2)令和5年度認知分の令和6年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合 計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R5	9,329 件	99.4 %	59 件	0.6 %	0 件	0.0 %	9,388 件

(3)令和4年度認知分の令和6年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合 計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	9,919 件	99.9 %	10 件	0.1 %	0 件	0.0 %	9,929 件

中学校調査結果

1 学校数

R 6 年度： (96)

2 いじめの状況

(1)いじめの認知件数及び学年別内訳

	1 年生	2 年生	3 年生	合計
R4	1,121 件	613 件	320 件	2,054 件
R5	1,157 件	650 件	389 件	2,196 件
R6	1,100 件	652 件	301 件	2,053 件
前年 増減	-57 件	2 件	-88 件	-143 件
前年 比	95.1%	100.3%	77.4%	93.5%

(2)いじめの発見のきっかけ

	R4		R5		R6	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	103 件	5.0 %	106 件	4.8 %	109 件	5.3 %
アンケート調査等学校の取組により発見	1,275 件	62.1 %	1,442 件	65.7 %	1,320 件	64.3 %
本人からの訴え	396 件	19.3 %	297 件	13.5 %	339 件	16.5 %
本人の保護者からの訴え	182 件	8.9 %	131 件	6.0 %	209 件	10.2 %
その他	84 件	4.1 %	78 件	3.6 %	76 件	3.7 %

(3)期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	R4	R5	R6	前年増減	前年比
① 冷やかしからい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	1,254 件	1,383 件	1,311 件	-72 件	94.8%
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	272 件	260 件	269 件	9 件	103.5%
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	396 件	326 件	325 件	-1 件	99.7%
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	144 件	119 件	127 件	8 件	106.7%
⑤ 金品をたかられる。	37 件	37 件	37 件	0 件	100.0%
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	169 件	207 件	162 件	-45 件	78.3%
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	136 件	137 件	152 件	15 件	110.9%
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	157 件	163 件	198 件	35 件	121.5%
⑨ その他	41 件	52 件	38 件	-14 件	73.1%

3 いじめの解消状況

(1) 各年度調査時の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R5	1,883 件	85.7 %	312 件	14.2 %	1 件	0.0 %	2,196 件
R6	1,710 件	83.3 %	342 件	16.7 %	1 件	0.0 %	2,053 件

(2) 令和5年度認知分の令和6年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R5	2,181 件	99.3 %	15 件	0.7 %	0 件	0.0 %	2,196 件

(3) 令和4年度認知分の令和6年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	2,050 件	99.8 %	4 件	0.2 %	0 件	0.0 %	2,054 件

高等学校調査結果

1 学校数

R 6 年度：（ 52 ）

2 いじめの状況

(1)いじめの認知件数及び学年別内訳

	1 年 生	2 年 生	3 年 生	合 計
R4	114 件	58 件	35 件	207 件
R5	93 件	79 件	33 件	205 件
R6	86 件	75 件	37 件	198 件
前年 増減	-7 件	-4 件	4 件	-7 件
前年 比	92.5%	94.9%	112.1%	96.6%

(2)いじめの発見のきっかけ

	R4		R5		R6	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	18 件	8.7 %	11 件	5.4 %	13 件	6.6 %
アンケート調査等学校の取組により発見	131 件	63.3 %	142 件	69.3 %	128 件	64.6 %
本人からの訴え	40 件	19.3 %	32 件	15.6 %	41 件	20.7 %
本人の保護者からの訴え	14 件	6.8 %	12 件	5.9 %	10 件	5.1 %
その他	4 件	1.9 %	8 件	3.9 %	6 件	3.0 %

(3)期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	R4	R5	R6	前年増減	前年比
① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	135 件	131 件	129 件	-2 件	98.5%
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	44 件	61 件	43 件	-18 件	70.5%
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	18 件	16 件	13 件	-3 件	81.3%
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	6 件	1 件	4 件	3 件	400.0%
⑤ 金品をたかられる。	5 件	8 件	7 件	-1 件	87.5%
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	13 件	7 件	9 件	2 件	128.6%
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	9 件	6 件	6 件	0 件	100.0%
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	29 件	24 件	12 件	-12 件	50.0%
⑨ その他	9 件	11 件	12 件	1 件	109.1%

3 いじめの解消状況

(1)各年度調査時の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合 計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R5	172 件	83.9 %	30 件	14.6 %	3 件	1.5 %	205 件
R6	151 件	76.3 %	46 件	23.2 %	1 件	0.5 %	198 件

(2)令和5年度認知分の令和6年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合 計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R5	198 件	96.6 %	4 件	2.0 %	3 件	1.5 %	205 件

(3)令和4年度認知分の令和6年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合 計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R4	203 件	98.1 %	0 件	0.0 %	4 件	1.9 %	207 件

特別支援学校調査結果

1 学校数

R 6 年度： (18)

2 いじめの状況

(1)いじめの認知件数及び学部別内訳

	小学部	中学部	高等部	合計
R4	6 件	11 件	39 件	56 件
R5	12 件	12 件	32 件	56 件
R6	13 件	16 件	43 件	72 件
前年 増減	1 件	4 件	11 件	16 件

(2)いじめの発見のきっかけ

	R4		R5		R6	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	11 件	19.6 %	7 件	12.5 %	5 件	6.9 %
アンケート調査等学校の取組により発見	28 件	50.0 %	37 件	66.1 %	53 件	73.6 %
本人からの訴え	9 件	16.1 %	6 件	10.7 %	8 件	11.1 %
本人の保護者からの訴え	6 件	10.7 %	3 件	5.4 %	6 件	8.3 %
その他	2 件	3.6 %	3 件	5.4 %	0 件	0.0 %

(3)期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	R4	R5	R6	前年増減	前年比
① 冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	26 件	30 件	34 件	4 件	113.3%
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	2 件	7 件	4 件	-3 件	57.1%
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	17 件	10 件	5 件	-5 件	50.0%
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	6 件	3 件	9 件	6 件	300.0%
⑤ 金品をたかられる。	0 件	0 件	1 件	1 件	-
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	2 件	3 件	5 件	2 件	166.7%
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	6 件	5 件	8 件	3 件	160.0%
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	1 件	3 件	4 件	1 件	133.3%
⑨ その他	4 件	2 件	8 件	6 件	400.0%

3 いじめの解消状況

(1)各年度調査時の状況

	学部	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他		合計
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	
R5	小学部	8 件	66.7 %	4 件	33.3 %	0 件	0.0 %	12 件
	中学部	11 件	91.7 %	1 件	8.3 %	0 件	0.0 %	12 件
	高等部	27 件	84.4 %	5 件	15.6 %	0 件	0.0 %	32 件
	小中高総計	46 件	82.1 %	10 件	17.9 %	0 件	0.0 %	56 件
R6	小学部	13 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	13 件
	中学部	10 件	62.5 %	6 件	37.5 %	0 件	0.0 %	16 件
	高等部	37 件	86.0 %	6 件	14.0 %	0 件	0.0 %	43 件
	小中高総計	60 件	83.3 %	12 件	16.7 %	0 件	0.0 %	72 件

(2)令和5年度認知分の令和6年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合 計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
小学部	12 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	12 件
中学部	12 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	12 件
高等部	32 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	32 件

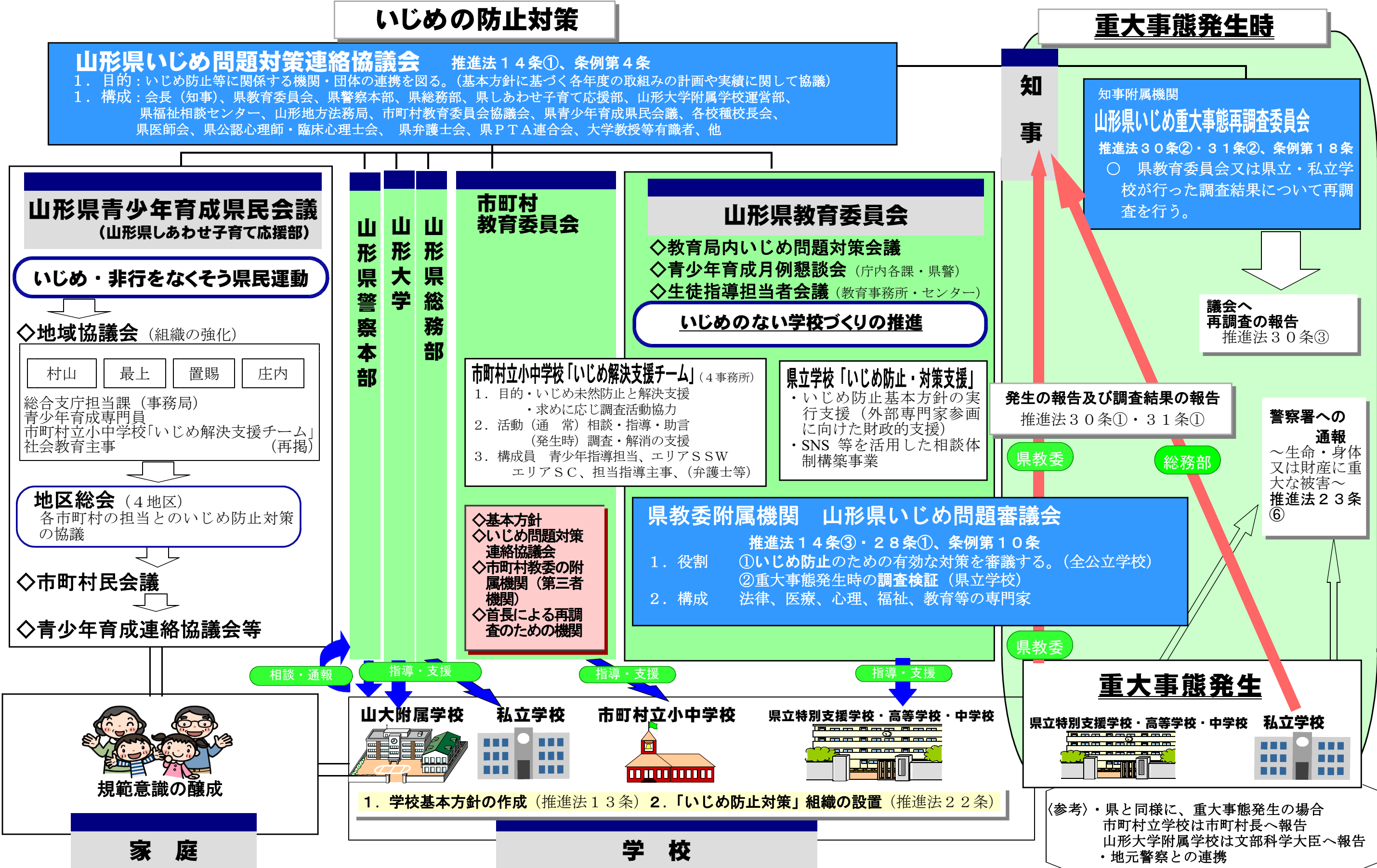
(3)令和4年度認知分の令和6年度末の状況

	いじめが解消した		解消に向けて取組中		その他（転校等）		合 計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
小学部	6 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	6 件
中学部	11 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	11 件
高等部	39 件	100.0 %	0 件	0.0 %	0 件	0.0 %	39 件

いじめ問題等への組織的対応に係る全体構造

山形県いじめ防止基本方針 推進法 12 条、条例第 3 条 → ◎いじめ防止等に係る対策の基本的な方向性 及び 対策の主な内容

※条例は、目的や附属機関など中核的な部分のみ規定



令和 7 年度いじめの防止等に向けた取り組み

重点 1

未然防止

- ☆児童生徒が安心できる「居場所づくり」
 - ・多様な考えが認められる授業づくり
 - ・道徳や特別活動でのロールプレイの実施
- ☆児童生徒が主体的に取り組む「絆づくり」
 - ・仲間と一緒に活動することで、自他を認め合う取り組みの実施
- ☆情報モラル教育の推進
 - ・講演会・研修会の計画的な実施
 - ・ネットトラブル防止やメディアの適切な利用に関する P T A との連携による講話等の開催
- ☆「いじめを許さない・見逃さないためのリーフレット」の活用
- ☆“いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動の実施

重点 2

早期発見

- ☆児童生徒・保護者を対象とした本県独自のいじめ発見調査アンケート及び児童生徒との面談の実施
- ☆児童生徒や保護者が相談しやすい環境づくり
 - ・各学校のいじめ防止基本方針の点検・見直しと保護者への周知
 - ・「心の健康観察」等の I C T 活用により児童生徒が示す様々なサインを見逃さないとともに、素早く対応できる教育相談体制の充実
- ☆スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用
 - ・ケース会議等における心理的、福祉的観点からの指導助言、実態把握

重点 3

適切な対応

- ☆いじめ防止基本方針に沿った各学校の体制づくり
 - ・各学校のいじめ防止基本方針に沿った点検・評価・改善のサイクルの確立
 - ・教職員間の情報共有と組織対応の徹底
 - ・アンケートやチェックリストの見直しと効果的な活用
 - ・面談内容の整理と共有、組織的な活用
- ☆市町村教育委員会への支援
 - ・重大事態対応への支援
 - ・各調査の結果等をもとにした、情報提供や指導・助言
- ☆スクールロイヤーの活用

調査に関する事

- (1) 定期調査・問題行動等調査による報告(1～3期)
 - ・いじめの認知状況・解消状況・発見のきっかけ・態様等の把握
 - ・調査結果を受けた各学校におけるいじめ対策への評価
- (2) いじめ発見調査アンケートと面談の実施(6・11月)
 - ・チェックリストや保護者アンケートを活用した積極的ないじめの認知
 - ・いじめの認知能力の向上、いじめ問題への的確な対応
- (3) 各市町村教育委員会における基本方針策定・組織の設置状況調査
 - ・いじめ問題への組織的な対応への支援、指導・助言



施策に関する事

- (1) いじめ・不登校未然防止推進事業
 - ・いじめ・不登校防止連絡協議会の開催（各教育事務所で開催）
 - ・各地区での「居場所づくり」「絆づくり」「のりしろづくり（小・中連携、小・小連携）」の取り組みの普及
- (2) いじめ解決支援チームの設置(各教育事務所)
 - ・青少年指導担当・エリアSSWによる未然防止、重大事案への対応
- (3) 「いじめ防止対策支援プログラム」の普及と活用(県教育センター)

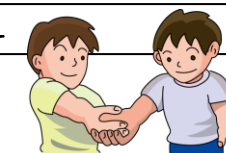
会議に関する事

- (1) 教育事務所等生徒指導担当者会
 - ・いじめの認知状況、解消状況、態様等の分析
 - ・各学校のいじめ防止基本方針の検証
- (2) 不登校未然防止連絡協議会
 - ・「居場所づくり」「絆づくり」「のりしろづくり」の取り組みの普及
 - ・「いじめを許さない・見逃さないためのリーフレット」の活用促進



- (3) 山形県いじめ問題審議会
 - ・いじめの実態に関する考察と施策の効果検証

- (4) 山形県いじめ問題対策連絡協議会
 - ・効果的な施策の実施に向けた関係機関等の連携強化



令和6年度の実績

1 小・中学校・特別支援学校の児童・生徒を対象とする取組み

○標語の募集・周知

- ・夏休み前から県内全小・中・特別支援学校に対し標語を募集
- ・県内4地区322校・51,340通の応募から優秀作品4点を選定
- ・優秀標語をポスターや県民運動情報誌に掲載した周知・啓発

<令和6年度優秀標語>

- 村山:いやなこと しない させない ゆるさない
(村山市立楯岡小学校1年 清水晴仁さん)
- 最上:その気持ち いつかじゃなく 今助ける
(最上町立最上中学校1年 千葉琉真さん)
- 置賜:きつとある 優しい心 誰にでも
(高島町立高島中学校3年 内山千咲登さん)
- 庄内:「それいいね!」とめちゃよいとこ つたえよう
(県立鶴岡養護学校小学部5年 青木まこさん)



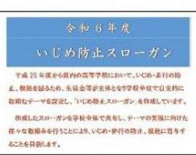
2 高等学校の生徒を対象とする取組み

○ポスターデザインの募集

- ・優秀標語を掲載して運動を周知するためのポスターデザインに16点の応募があり、優秀作品1点を選定

○いじめ防止スローガンの作成・広報

- ・公立校44校、私立校2校にてスローガンを作成



3 全県的な運動推進・普及啓発に向けた取組み

○山形県青少年健全育成県民大会の開催

- ・10月27日 村山市民会館で開催(事務局:村山地区)
- ・青少年健全育成関係者約240名が参加し、大会宣言を承認

○いじめ・非行防止セミナーの開催(県民大会と同日開催)

- ・東根市「ひがしねあそびあランド」運営者の活動発表
- ・クロフネカンパニー代表 中村文昭氏による講演

○インターネットに関する研修会の開催

- ・11月18日 県庁講堂で開催(講師:県消費生活相談員)

○県内民間企業等と連携した啓発活動

- ・11月10日山形県総合運動公園で実施
- ・モンテディオ山形ホーム最終戦にあわせ運動啓発

・缶バッジや横断幕等啓発物品の活用(ジョンダナホール展示等)



4 各地域における運動の展開(地区協議会・市町村民会議)

○「児童・生徒と地域の大人の対話会」の開催

- ・県内の各地域で、児童・生徒と地域の大人が互いに向き合い、いじめ防止等について話し合う対話会を開催
- ・大人、子どもそれぞれが、学校内の取組みだけに限らないいじめ防止のあり方を幅広く考えることを意図し、地域に根ざした形で対話する場を設定(ワークショップ形式)

○街頭運動・地域行事や企業訪問における啓発

○講演会や研修会等の開催

- ・青少年育成推進員向けのいじめ・非行防止研修会等

○広報誌の発行・配布等による情報発信 etc...



○評価と▲課題

1 小・中・特別支援学校生を対象とする取組み

- 取組みが定着し、各学校で初期段階のいじめを含め、早期発見・早期解決する意識が醸成されている。

○いじめ認知件数が減少している。

- ▲標語募集は、対象児童らが変わるため継続が必要だが、取組みが10年を過ぎ、過去の類似作品も見受けられるようになっている。

2 高校生を対象とする取組み

- スローガンは生徒会を中心に継続的に取り組まれ、いじめ防止意識の醸成や取組みが定着している。

- ▲ポスターデザイン応募高校が減少している。

- ▲スローガン設定後の各校での取組み、効果の情報共有が十分でない。

3 全県的な運動推進・普及啓発に向けた取組み

- 県民大会では活動者等が一堂に会することで情報共有と機運醸成が図られるとともに、表彰により意識高揚につながっている。

- セミナー、研修会では、地域活動事例の共有や最近の課題について知識習得、情報共有が図られた。

- 普及啓発では、様々なイベント、媒体を活用し運動の周知が図られた。

- ▲県民大会の参加者が年々減少している。

- ▲セミナー等では、SNSを介したいじめや犯罪被害等の発生、令和4年からの非行少年の増加など、これらの社会情勢(課題)の変化に対応したテーマ設定や知識習得、情報共有が必要。

4 地域における運動の展開支援

- 対話会では、地区毎に最近の課題等を踏まえたテーマを設定し、いじめ・非行の防止や地域課題に意見を出し合うなど世代間交流・相互理解が図られた。

- 各地域の実情に沿って精力的に運動が展開されており、県全体の非行少年等の補導・検挙数は減少傾向にある。

- ▲対話会では、参加者以外への波及効果の拡大が不十分。

- ▲地域内での情報共有・交流が中心のため、地域を超えた好事例の展開等が必要である。

令和7年度の運動方針と主要事業

1 小・中・特別支援学校生を対象とする取組み

○標語の募集・周知(強化)

- ・5・7・5形式の応募が多いことから、形式にとられない多彩な作品の応募、応募数増加を図る。
- ・優秀標語4点掲載のポスター配布、県民会議ホームページ、県SNS等で全県へ広報する。

2 高校生を対象とする取組み

○ポスターデザインの募集(強化)

- ・募集時に積極的な参加を呼びかける。
- いじめ防止スローガンの作成・広報(強化)
- ・県民会議ホームページ等に掲載し、各校の活動を県民に広く周知する。
- ・スローガンとともに取組内容等も含め、広報周知する。

3 全県的な運動推進・普及啓発に向けた取組み

○山形県青少年育成県民大会の開催、「いじめ・非行防止セミナー」開催(継続)

- ・表彰者の掘り起こしなど実践活動者の意識高揚を図る。
- ・地域活動実践者のニーズと社会情勢、課題に合わせたテーマの講演等を行い、広く周知して参加者を募る。

○インターネットに関する研修会の開催(継続)

- ・青少年のネット利用の現状や問題、安全利用対策に関する健全育成団体、指導者向けの研修会を開催する。

○県内民間企業等と連携した啓発活動(継続)

- ・運動協賛企業や団体に働きかけ、連携した広報・啓発活動を継続し、新たな会員の獲得、運動の更なる定着を図る。

○青少年のインターネット安全利用の広報啓発(継続)

- ・青少年のネット利用について、発達段階に応じた保護者による適切な管理(ペアレンタルコントロール)を促進するため効果的な広報・啓発を行う。

4 地域における運動の展開

○「児童・生徒と地域の大人の対話会」の開催(強化)

- ・対話会での意見等を共有し、その効果を広めるため、開催結果等をまとめて県民会議ホームページ等で広報、周知する。

○各地区・市町村への支援(継続)

- ・各地区、市町村の運動に関する取組みへの助言及び財政的支援を継続する。
- ・県で集約した地域の活動実績をフィードバック又は広く発信し、地域活動の更なる活性化を図る。

令和 7 年 6 月 2 日
山形県警察本部

いじめ問題に対する警察の取組について

1 山形県警察における認知状況

(1) いじめに関する相談

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
受理件数	12	11	9	27	27

(2) いじめに起因する事件

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
検挙件数	2	0	0	0	4

2 基本的な考え方

学校におけるいじめ問題については、教育上の配慮等の観点から、一義的には教育現場における対応を尊重しつつも、犯罪行為がある場合には、被害少年や保護者の意向、学校の対応状況等を踏まえながら、必要な措置を執る。

3 いじめ問題への取組状況

(1) いじめ事案の早期把握

ヤングテレホン（少年相談専用電話）、少年相談メール、警察相談専用電話（＃ 9 1 1 0）等の相談窓口を設置し、いじめ事案の相談を幅広く受け付け、事案の早期把握に努めている。

(2) 関係機関との連携

山形県学校警察連絡制度を活用し、教育関係機関といじめ事案に関する情報交換・情報共有を図っている。

(3) スクールサポーターの活用

各学校からの要請に基づきスクールサポーターを派遣して、校内外の安全確保とあわせて、いじめ事案に関する情報収集や助言指導に当たっている。

山形県PTA連合会「親学」補助事業 (いのちの大切さ・人権教育に関する学習会)

令和6年度は、7団体が申請しそれぞれ、講演会・研修会を開催した。

地区P名	研修会テーマ（演題）
山形市PTA連合会	山形市PTA研修大会 ・子供の居場所づくり・子供の心と体の育ち いのちの大切さ学習会（拡大母親委員会） 「子どもを犯罪から守るために」～少年の非行及び被害の現状から～
上山市PTA連合協議会	上山市立南中学校教育講演会 「写真が語る、いのちのバトンリレー～生老病死そして生～」
最上地区PTA協議会	新庄小学校保健委員会 「思いが伝わるしかり方で子どもの心を育てよう」 真室川PTA連絡協議会主催教育講演会 「遊ぶ感覚で学ぶ」
米沢市PTA連合会	米沢市立東部小学校講演会 子育てセミナー 「親子の絆 ～友だち関係や思春期の関わり方」
東置賜地区PTA連合会	南陽市PTA連合会研修大会・高畠町PTA連合会研修大会 「地域の魅力をグローバルへ」
鶴岡市PTA連合会	東栄小学校PTA研修大会 「命の誕生・大切な命」 鶴岡第三中学校PTA研修会 「命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる」
酒田飽海PTA連合会	酒田飽海PTA連合会研修大会 「私たちは今どこにいるのか～ジェンダー平等をめざして～」

令和7年度は山形県PTA連合会「親学」補助事業
(いのちの大切さ・人権教育に関する学習会)を行う予定です。